

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第2回伊那北駅周辺再生ワーキンググループ（WG）			
開催日	2024年10月25日(金)			
開催時間	開会	18：30	閉会	20：30
開催場所	きたっせ			
出席者				
協議会・WGメンバー	三澤俊明氏、田畑和輝氏、須永次郎氏、笠井成樹氏、北原俊文氏			
事務局・職員	建設部：原（都市整備課長）			
関係者	山寺区特別委員会(10名)			
欠席者	—			
議事	1、区長あいさつ 2、自己紹介 3、意見交換			

議事項目	概要	次のステップ
1、自己紹介		
2、伊那北駅周辺整備に関する意見交換		
WG・地元区の意見交換	○WGメンバー ・山寺の皆さんの考えをお聞かせ願いたい。 ○山寺区特別委員会（区長ほか委員） ・かつて、商店持続の課題について検討したが、難しく、駐車場も解約したが、その後、必要性から再度借りた経緯がある。WGが現状を把握しどうするか、いろいろな事業が決定するまでには、結論をお願いしたいと感じる。 ○WGメンバー ・まちづくりに取り組む前提で参加した。地元の話聞いて提案していく。 ○山寺区特別委員会 ・優建の説明、渋滞緩和、踏切混雑など要望はある。優建は民間事業だが公共の補助金が入る。 ・地域の利便性向上も検討願いたい。また、JRの料金システムへの要望もある。空き店舗活用も課題。後継者不足で店を閉めるケースもあり、店が減って	

	いる。 ○WG メンバー ・ 駐車場はまちの存続に影響があるか。 ○山寺特別委員会 ・ 地域はマーケットが小さい。人口 2600 人程度。 商店街活性化対策で打ち上げ花火などやるが、効果は続かない。 ・ 道路では養老の滝の前の歩道の直線化など、効果があると思う。現歩道の湾曲は無い方が良い。 ○WG メンバー ・ 商店街の今後や、高校統合などによる生活環境の変化をどう考えているか。 ○山寺区特別委員会 ・ いろいろ対策に取り組むが賑わいに向けては難しい。ただし、学生が増えるなら何が良いか考えたい。例えば、電車が出るまでの飲食など、現状は女子高生が入るお店もできている。塾も進学化により、チェーン店、個人資格者が勉強を教えるなど考えられる。送迎の親が、惣菜を買う店も考えられる。 ○WG メンバー ・ 新校の通学希望者が、移住できる空き家などが不足していると聞いているが如何か。今は住民票が無くても、優秀な子たちが好きな高校に通えるようになっている現状がある。 ・ 進学校として他地域から来るような、新しい教育を持つ高校ができた時に、家が足りない場合は学生寮と いう発想もあるかもしれない。 ・ 高校の魅力により人が集まる場所に変わる可能性がある。マッチングデザインは大切と考える。 ○山寺区特別委員会 ・ 町づくりには積極的な気持ちである。住んでいる人、大人も使う、安心安全なまちってコンセプトとしても中身をどうするか難しい。 ○WG メンバー ・ 探究型の学びで、まちを調べたり、研究することと	
--	--	--

	する、進学校の試験も増えている。学びを地域の大人も支え、バックアップする仕組みを学校とまちができないか。 ○山寺区特別委員会 ・特徴のある伊那小を始めとする、学びの集積地であっても、住民の生活も大事である。ともに発展していける形がよい。 ○WG メンバー ・住民と若い子たちがここで育ちことで、このまちを継ぐ子を自分たちで育てる、子供をまちで支える話はないか。 ・まちは性格の形成とか、価値観の形成につながるもの考える。 ○山寺区特別委員会 ・区の世帯調査を行ったが空き家は多い、空き家登録に意味がないと考える向きがある一方、移住してきた人はパソコン1つで仕事をしている。 ・交通課題として、電車の時間帯に送迎車が止められない。みなさん駅の廻りをぐるぐる回るしかなく、交通混雑にもつながる。 ・高校生との関わりは、アーバンスポーツなど昔はやると怒られたものも考えたらよいと思う。勉強の場だけでなく、スポーツ、音楽からも素晴らしい若い人は出ている。 ・高校生に特化するわけではなく、まちの人たちも充実して暮らす、バランス感覚も考慮したい。 ・駅、歩道橋、ビル3つ作って終わりではよくない。 ○WG メンバー ・本日は大変ありがとうございました。宿題も課題も伺えました。 ・現状は、WG のみで活動しているが、今後は広く参加をお願いする流れにしていきたいと思います。	
--	--	--